

2014年12月19日
在リオデジャネイロ日本国総領事館

リオ州の安全情報(2014年38号)

空港アクセス・ルートにおける自動車強盗の多発について

リオ市中心部とガレオン国際空港とを結ぶ「リーニャ・ベルメーリャ (LINHA・VERMELHA) 通りで、本日(19日)、武装した集団による自動車強盗事件(アハスタウン (ARRASTAO) が発生しました。

当地グローボ紙のインターネットサイト・G1によれば、本日午前8時頃、マレ地区の同通りにおいて、容疑者らが石や金属棒等を通行車両に向かって投てきし、交通渋滞を引き起こした後、約10分間にわたって停車している車両運転者を次々とけん銃を使って脅し、所持品を片っ端から盗んでいったとのことでした。

事件が発生したマレ地区では、昨日(18日)にも同様の事件が発生しています。また、11月には同地区の警備を担当している陸軍兵士(日系・21歳)が銃撃戦の末殉職するなど、治安の悪化が懸念されています。

※ 発生現場の直近に位置する第22州軍警察部隊では、これらを受けて周辺の警備強化をしています。

【当館からのアドバイス】

- 同通りは国際空港への重要なアクセス・ルートですが、渋滞があらかじめ分かっているような場合は、AV・BRASIL(アベニータ・ブラジル)等の迂回路を利用することも大切です。
- 発生日時には傾向があり、午後6時から9時頃が最も多く発生しています。週末の場合には行楽帰り狙いでもう少し早い時間帯にも発生が目立ちます。年末年始の旅行計画では、道路が混み始める前に危険な地点を通過できるような日程を計画しましょう。
- 犯人が車の直前に現れた場合など、安全に退避することができない状況に陥った場合には、無理に逃げず、相手の指示に従うようにしてください。